

★淡路文化会館からのお知らせ★

淡路文化会館利用案内

花と緑に囲まれ文化活動等、幅広い活動の場としてのご利用をお待ちしております。

会議・研修会・スポーツにもご利用できます。

※使用料が必要になります。

生活創造活動グループに登録いただければ生活創造情報プラザ（右表下段）は無料でご利用になれます。



調理教室



視聴覚教室

施設名	定員・大きさ	施設内容
講堂	定員400名ホール378㎡	講演会、文化祭、DVD等鑑賞
会議室	定員60名 108㎡	会議、講義、各種会合
美術展示室 (県民ギャラリー)	136㎡ (56㎡)	美術展示、壁面30m(10m×3面) (美術展示)
視聴覚教室	定員50名 90㎡	DVD等鑑賞、会議、インターネット接続可
調理教室	定員50名 98㎡	調理実習、調理台9、冷蔵庫、レンジ他
体育室	771㎡	ハレー2、バスケ1、バドミントン3、卓球台9
多目的グラウンド グラウンド	2,423㎡ 18,000㎡	野球1、ソフトボール1、サッカー1、陸上競技等
放送大学視聴室	11㎡	放送大学教材の視聴
生活創造情報プラザ	128㎡ 101:33㎡、102:44㎡	ピアノ 102:インターネット接続可 登録により利用可
ロッカーコーナー	23㎡	登録により利用可
保育室	22㎡	カーベット張り
ブース201,201,203	各22㎡	小打合せ
印刷製本室	22㎡	印刷機1、紙折機1
プラザ広場	33㎡	多目的利用可
プラザルーム	18㎡	各種会合、ソファ
伝統文化コーナー	17㎡	伝統文化に関する書籍・映像資料等
資料室	162㎡	会議、講義、各種会合、書籍資料
和室ブース	17㎡	8畳
和室スペース	36㎡	15畳
多目的スペース	95㎡	フローリング床、片面ミラー張り

生活創造活動グループの施設を無料でご利用いただけます

★兵庫県淡路消費生活センターからのお知らせ★

平成25年度くらしの通信講座「消費者力アップ講座」受講生募集!

消費者を取り巻く環境が大きく変化し、消費者問題が複雑・多様化している現在、消費者自らが学習し、消費者被害の未然防止を図ることが大切です。そこで、くらしに関わる様々なテーマについて知識を深める通信制の講座を下記のとおり開講します。いつでもどこでも学習できますので、是非、ご受講いただき消費者力アップをめざして下さい。

実施期間：平成25年9月～平成26年2月

実施方法：★テキストによる家庭学習 5回

★スクーリング 1回（2月下旬 場所：未定）

対象・定員：淡路地域に在住、在勤、在学の方 50名（県全体で700名）

受講料：無料（ただし、テキストの送料として1,000円分の切手が必要）

申込方法：受講申込書に必要事項を記入し、1,000円分の切手を添えて、淡路消費生活センターへ持参または送付して下さい。（★送料：1回につき200円×5回分）

申込締切：平成25年8月21日（水）

申込・問合せ：〒656-0021 洲本市塩屋2-4-5

淡路県民局県民生活室淡路消費生活センター「くらしの通信講座」担当

TEL：0799-26-3360 FAX：0799-26-3090



兵庫県淡路消費生活センター 商品や契約についてお気軽にご相談ください。

◇消費生活相談・多重債務相談 電話0799-23-0993

9:00～12:30 13:30～16:30（土日祝日・年末年始は除く）（電話受付）

※6/21～9/30の間サマータイム実施につき、昼休み時間に変更となっております。



所	イベント	日時・会場	料金・問合せ先
淡路島 国営明石海峡公園 〒656-2307 淡路市南鶴崎8-10 TEL 0799-72-2000 FAX 0799-72-2100	淡路島国営明石海峡公園 わくわく昆虫フェスタ2013	~8/25(日) 10:00~17:00 ビジター棟 (イベントにより異なる)	イベントにより異なる ※別途入園料、駐車料金必要
	ヒマワリのつみとり体験	8/17(土)、18(日) 13:30~15:30 大地の虹花畑	参加費無料 ※1人5本まで ※別途入園料、駐車料金必要
兵庫県立 淡路夢舞台温室 「奇跡の星の植物館」 〒656-2306 淡路市夢舞台4 TEL 0799-74-1200 FAX 0799-74-1201 10:00~18:00 (最終入館17:30)	ハワイアンナイト —フラダンス& ボサノバショー—	8/10(土)~17(土) 15:00~、17:00~、 19:00~	入館料 大人600円、 65歳以上300円、 高校生300円、 中学生以下無料
	夜の植物館探検ツアー	8/10(土)~17(土) 20:00~	※8/10~18は21:00まで
洲本市文化体育館 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-25-3321 FAX 0799-25-3325	響け若人の歌ごえ 被災地から被災地へ 南相馬ジュニアコーラス アンサンブルと歌おう	8/6(火) 14:00~16:30 文化ホール「しばえもん座」	入場無料※要入場整理券 【問】0799-22-3264 (洲本ロータリークラブ 中村)
	オオツエふるさとコンサート 「夏の終わり」	8/17(土) 15:30~17:30 会議室1A	前売券 1,000円 当日券 1,500円
洲本市 市民交流センター 〒656-0054 洲本市宇原1788-1 TEL 0799-24-4450 FAX 0799-24-4452	開館35周年記念 市民交流センター祭り	8/18(日) 9:00~17:00	一部有料 【問】市民交流センター
(一財)淡路島 くにうみ協会 〒656-0022 洲本市海岸通1-11-1 TEL 0799-24-2001 FAX 0799-25-2521	第2回淡路島くにうみ講座 「淡路島の新たな 地域ブランドの育成に向けて」 講師 淡路島オーリーブ協会会長 柿原辰郎氏	8/10(土) 14:00~15:30 洲本市健康福祉館 3F会議室	無料(要事前申込) 【問】淡路島くにうみ協会
淡路人形座 一周年特別企画		・前夜祭「感謝の夕べ」 8/9(金) 19:00~ 有料 ・特別講演 8/10(土) 18:00~ 有料 【問合せ先】淡路人形座 TEL:0799-52-0260	
じんけんサマーフェスティバル2013 in 南あわじ ~ かんがえてみよう みんなでできること ひとりでもできること ~ 家田荘子さん講演(無料)あり		【日時】8/24(土) 11:00~16:00 【場所】南あわじ市 西淡公民館 【問合せ】TEL:0799-37-3019(南あわじ市人権教育課)	
第2回南あわじ音楽祭 出演:東京フィル&京響トップメンバー オーディション合格者 (淡路市1名、南あわじ市1名他)		【日時】9/1(日) 11:00~13:00 【場所】南あわじ市 三原公民館 【料金】大人2,000円 高校生以下500円 【問合せ】TEL:0799-37-3020(南あわじ市教育委員会)	
子供ミュージカル宝島&美術展		【日時】8/18(日) ①11:00~ ②14:00~ 【場所】南あわじショッピングセンター ららウオーク 【問合せ】TEL:080-5365-0868(劇団Kid's 中本) ※入場無料、美術展は店舗開店中観覧可	

所	イベント	日時・会場	料金等
淡路文化会館 〒656-1521 淡路市多賀600 TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400	井村澄展船舶模型展	8/6(火)～15(木) 9:00～17:00 ※県民ギャラリー	鑑賞無料
	島の作家達による彫刻習作展	8/17(土)～28(水) 9:00～17:00 ※展示室	
	マイ・ラブリーキルトⅡ	8/17(土)～28(水) 9:00～17:00 ※県民ギャラリー	
	淡路津名アートクラブ作品展	8/30(金)～9/11(水) 9:00～17:00 ※展示室	
	内海信子 柿渋型染め展	8/30(金)～9/11(水) 9:00～17:00 ※県民ギャラリー	
洲本市民工房 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-22-3322 FAX 同上	第33回白美会作品展	8/9(金)～11(日) 10:00～18:00 初日は13:00～ 最終日は16:00まで ※3Fギャラリー	鑑賞無料
洲本市 市民交流センター 〒656-0054 洲本市宇原1788-1 TEL 0799-24-4450 FAX 0799-24-4452	環境ポスターコンテスト 応募作品展示	8/6(火)～31(土) 9:00～21:00 アールギャラリー 月曜休館	鑑賞無料 【問】市民交流センター
南あわじ市 滝川記念美術館 玉青館 〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1 TEL 0799-36-2314 FAX 0799-36-5408	平成25年度館蔵品展 2 ※期間中一部入替有り	～9/23(月・祝) 9:00～17:00 入館は16:30まで 月曜休館	大人300円 高大生200円 小中生100円 ※小中生は「ココロ カード」「のびのびパス ポート」利用可 【問】玉青館

「平成25年度淡路島ブランド広域推進事業助成金」
 淡路島の地場産品を利用して魅力ある「淡路島ブランド」として商品化し島内外で広く事業展開をする者に対して助成を行います。

【募集期間】～25年12月27日(金) ※必着
【問合せ先】(一財)淡路島くにうみ協会
 TEL:0799-24-2001
 E-mail: awajishima@kuniumi.or.jp

編集だより

今月のテーマは『麺特集』。この夏とても暑い日が続いていますが、皆さん食欲が落ちぎみではないですか？でも、暑い日でもツルっと食べられるのが『麺』ですよ～。素麺に冷やしうどん、ざる蕎麦に冷やし中華などなど…。考えただけで今すぐ食べたくなってしまいますね。

編集会議中にもいろいろなお店やあたらしいメニューの情報がたくさんでてきましたが、ほとんど私が知らないことばかり。長い夏休みはポケットあわじを見ながら、子どもと一緒に淡路の麺めぐりを楽しむのも良いかもしれないと考え中です。

応援隊 稲嶺恵美



「ポケットあわじ」は、毎月3,000部発行し、応援隊の手により、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約240カ所に無料配布しています。淡路文化会館のホームページでご覧になると、カラー版でお楽しみいただけます。読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。

(発行) 淡路生活創造応援隊
淡路文化会館

〒656-1521 淡路市多賀600
 TEL 0799-85-1391

E-mail a-pocket@yogo-iki-gai.jp





—淡路の情報いっぱい!生活創造しんぶん—

月刊

ポケットあわじ

のどごし爽やか

イケメン

つるっつるの活麺



アクアパツツア 鯛そらめん

淡路にきたら、おいしい麺いっぱい食べて帰ってよ〜



淡路市岩屋の民宿『いかだや』を営む竹代 結さんにオリジナル鯛そらめんを作っていただきました。

一般的な鯛そらめんは、鯛一匹丸ごとに片栗粉をまぶして一度揚げ、さらに蒸して余分な脂を除きます。その鯛とそらめんをだし汁で軽く煮込んで大皿に盛る料理です。

今回食べた鯛そらめんは、名づけると※アクアパツツア鯛そらめん。食べた感想は、“お野菜たっぷりヘルシー”“栄養のバランスがいい”“彩りが良くてきれい”“子どもも食べやすい”“鯛がプリップリで美味しかった”“鯛をイタリアン感覚で食べるなんて新発見!”と言ったように見た目も味も満足な一品でした。ご家庭でも簡単に作れますよ。

淡路島は食材豊かで、色んな料理が楽しめる場所です。素材がいかにされたお料理を食べると気持ちも豊かになるような気がします。よかつたら一度お試しになって下さいね。応援隊:三宅 恵理子

※魚介類をトマトやオリーブオイルなどにも白ワインと水で煮込んだイタリア料理。

鯛そらめん応援隊:竹原祐乗・山田由紀子・田処幸久・田村ひろ子・廣岡ひろ子・坂本厚子・村上紀代美・川原雅代



料理人 竹代 結さん

さすらいの料理人 竹代さんに教わる アクアパツツア鯛そらめんの作り方

- ① 塩こしょうした鯛をオリーブオイルで焼く。
- ② そうめんを茹で、オリーブオイルを絡めて塩こしょうする。
- ③ オリーブオイルににんにくを入れ、玉ねぎを炒める。
- ④ 野菜(パプリカ・プチトマト・セロリ・しめじ)を加え、アサリを入れて、酒か白ワインを入れて蓋をする。
- ⑤ 焼いた鯛と炒めた野菜を合わせ(煮汁も一緒に)、そうめんを加えて盛りつける。

今月の特集

のどごし爽やか! つるっつるの活麺

- P.1 ・鯛そらめん
- P.2 ・カレーつけ麺 ・中華風イケ麺
- P.3 ・生パスタ ・一からつくるところてん

もくじ

- P.4 今語り継がれる戦争体験・佐奈喜さんの戦争体験・〇〇飛行場
- P.5 ・県民交流広場等のネットワーク支援事業
- ・生活創造活動グループ交流会
- P.6 淡路文化会館・淡路消費生活センターからのお知らせ
- P.7.8 淡路の文化活動・イベント情報



つるっつの活麺 淡路島ぬーどる カレーつけ麺

鼓亭

のどさしわやがる
淡路島ぬーどる

金庫内で麺を食す...

南あわじ市福良の「鼓亭」は自家製タレが自慢のネギトロ丼が人気のうどん屋さん。さらに「銀行の金庫の中」と「淡路島ぬーどるのカレーつけ麺」というキーワードが加わりました。地元ポケット応援隊もつるっつの活麺(イケメン)を求めて取材開始。注文は迷わず「カレーつけ麺」。座席も迷わず「金庫の中」。昔銀行の金庫だったというその席は、なるほど頑丈な鉄骨製でもちろん窓はなし。大きな扉を開けて入ります。待つこと数分。(お客さんの注文を受けてから湯掻きます。)運ばれたお盆の上には「淡路産玉ネギのオニオンフライ・猪豚のカリカリ揚げ、そして手前の鉢にはチーズと温泉卵の乗ったカレーとそして淡路島ぬーどる」。大将の赤沢稔さん(65才)のお話によると、カレーはカレーうどんのルーではなくて、カレーライスのルーに近い味。素麺より太くて長い淡路島ぬーどるにうまく絡むように何度



うれしいご飯つき

淡路産玉ねぎ
オニオンフライ

淡路産イノブタ
カリカリ揚げ

カレーと相性抜群の
ごろごろチーズ

みんが大好き
温泉卵

金庫内



麺だからみつく
カレーの味が最高!

も試作を重ねて生みだされました。お客さんの食べ終わりの満足感も考え、ご飯・チーズ・温泉卵も加わって「カレーつけ麺」の完成。カレーのルーは季節によっても辛さを変えているこだわり様です。

鼓亭は「面を打つ」鼓と「麺を打つ」をかけて命名。うどんの麺は毎朝手打ちです。味にこだわった活麺(イケメン)大将の話は忙しい時には聞けませんが、金庫室で弟さんの主催する絵手紙教室の作品や天井に飾られた絵風を見ながら新しい食感「淡路島ぬーどる」を楽しんでみてはいかがでしょう。 応援隊:村上 紀代美・坂本 厚子

マミー 真心特製 中華風イケ麺



県立淡路高校を岩屋方面へ直進して看板を右に曲がってすぐのところにあるあわ路飯店 真心(マミー)に行ってきました。清潔ピカピカ、べっぴん厨房で〇十年前のイケメン!?(マスター!今もイケメンですよ!)が真心を込めて作るイケメン達!この夏おすすめ超イケメン達を紹介します。

淡路市富島1660 Tel.0799-82-0219
営業時間11:00~15:00 17:00~22:00 定休日木曜

喫茶マミーをしておりましたが、震災の時にお世話になったたくさんの方々へ真心をお返ししたいという気持ちから真心にしました。



爽やかイケメン 冷麺

夏バテであまり食べられないあなたにおすすめ!さっぱりしていて自家製チャーシューがとっても美味しいよ。



ホッとしたイケメン スタミナラーメン

スタミナ炒飯とのセットもおすすめ。自家製辛味みそがみそ!



気になるイケメン ラーメン焼きそば

ラーメンも焼きそばも食べたいあなたにおすすめ!茹でたラーメンをソースで味付けしてあんをかけました。野菜たっぷりりで、とっても美味しいよ。

食材はすべて淡路産です

マミー
♥♥♥ 真心のなへ? ♥♥♥

まりも定食 女子高生に人気!
※炒飯・ギョウザ・から揚げ・ニラもやし
が少しづつ味わえます。でも人生でたった3年しか食べられません。
なへ? 女子高生限定だからです。その女子高生のあなた!今すぐGO!

人気度 スリーマミー ♥♥♥

今日はイケメン達を堪能したので、明日はしらす丼食べにこよ!スタミナついたし、暑い夏もこれで乗り切れるわ~。
女子高生限定の「まりも定食」食べられへんかな~。
応援隊:藤本 法美・池田 けい



しらす丼



淡路市志筑に今年1月17日に新しくできた生パスタ工房『tutto piatto』(トゥットピアット)に行ってきました。洲本方面から国道28号線の石神交差点を左折してすぐの場所にあります。このお店は淡路麺業が生パスタを通して淡路島の食の素材発信を目的として誕生しました。淡路麺業は1909年に創業し、今年で104年にもなる老舗で生パスタを主力商品として製造し全国700店舗のパスタ店に卸しているそうです。



トゥットピアット

tutto piatto 生パスタ



生パスタ

生パスタの特徴は、生ならではの独特の風味、でんぷんとグルテンが活かしているモチモチ食感。

現社長の出雲文人さんは「淡路島が大好きだからこそ私たちのできる麺作りを通じて地元の農家さんや漁師さんの大切な素材をお客様の笑顔につなげたい」と語る。



本日のランチレポ

本日のランチにあった海老とズッキーニのクリームパスタを注文してみました。

まず最初に出てきたのは具だくさんの気まぐれサラダ。メニューに淡路島の生産者の名前入りで、安心して食べられる新鮮な野菜たちです。味付けは薄味で、地産地消ならではの野菜本来の美味を味わえます。好みによりバルサミコ酢が使えます。

パンは、フォカッチャ・くるみパン・バケットの3種類が出てきます。もちろんオリーブオイルも付いてきます。

そしてメインの Pasta。見た目にも彩り美しく、食べてしまうのがもったいなく思いました。海の素材と山の素材が、とってもクリーミーなソースになってもっちりとしたパスタに絡まりあい、絶妙の味わいのハーモニーを口の中で奏でます。一ロー口と進む間に、あっという間にペロリと平らげてしまいました。

最後に出雲さんに、これからの夢を聞いてみると「淡路島人口30万人計画」地域と連携し雇用の創出、スキップしていける会社の実現、「淡路島の楽しい」を「みんなの楽しい」に変える楽しさ倍増計画」と夢を語るひたむきな少年のような瞳が印象に残りました。

あなたも夢の一皿を食ってみませんか！？

応援隊：竹代 結・山田由紀子・田村ひろ子

自由研究 オススメ! 一からつくる ところてん



地産地消 海岸にはテングサがいっぱい

なんということでしょう。赤茶色のテングサが白に!



煮汁がどろっとするまで、弱火でグツグツ煮る。

ところてんの材料



こした煮汁をバットに置いて冷ます。

固まったら拍子木状に切り分けて冷やす。

ところてん突きで突いて出来上がり!

もう何十年前も前、子どもの頃によく食べていたところてん。記憶を頼りに作ってみました。

まずは、テングサを採りに行きます。採るというより拾うかな。淡路島の周辺は海なので、ほとんどの海岸に流れ着いたテングサがうちあがっています。今回は洲本市由良の生石海岸へ採りに行ってきました。1時間足らずでレジ袋がいっぱいになるぐらい拾えました。帰ってきて水道水でよく洗ってから干します。乾いたら洗って干す。これを5~6回繰り返すと濃い赤茶色だったテングサの色が抜けて白くなりました。これでところてんの材料が出来上がり。



つるつるのところてん

ところてんの作り方

- ① 大きめのお鍋に水3リットルを沸かします。
- ② その中に乾いたテングサ50グラム。それを水に戻し、酢少々を鍋に入れて30分ぐらい弱火で煮ます。吹きこぼれに注意。
- ③ 煮汁がどろっとしてきたら火を止め布きんなどでこします。
- ④ 煮汁をバットなどの平らな容器に入れて冷まします。厚さは2cmぐらいがよいと思います。
- ⑤ 冷えて固まったら幅3cmくらいの拍子木状に切り分け、これを水のいったボールやタッパなどに入れて冷蔵庫で冷やします。
- ⑥ 後は食べるだけ。ところてん突きで突いて、三杯酢や黒蜜をかけて出来上がり。

私は三杯酢に少しだけ練りからしを入れ、ゴマを散らせてたべるのが好きですね。煮汁が熱いうちにコーヒーや抹茶、砂糖、フルーツなどを入れてみても美味しいと思います。今回自家製の梅シロップを入れてみましたが、とてもさっぱりとした味で美味しかったです。ぜひ、ところてん作りにチャレンジしてみませんか？

応援隊：田畑 吾久

空襲、疎開、戦時中の生活・・・ 淡路市生田に住む 佐奈喜さんの戦争体験



淡路市生田に住んでいる佐奈喜千恵子さんは、10年位前、孫娘の咲さんが小学校三年生の時、担任の先生が「ちいちゃんのかげおくり」を勉強するにあたって、戦争の話をしてくれる人を探していることを知り、難しい話ではなく、自分の体験を話すことを申し出たのがきっかけで、今では年間数百人の子どもたちに話をしています。

北淡歴史民俗資料館で話をするとき、**焼夷弾**を実際にさわって話します。「50cmの筒の中に油を入れたボールペン位の大きさのものを60-70本詰め込んで落下させ空中で炸裂させると、木造の日本の家屋はたちまち**火の海**になる」と話をすると、子どもたちからはたくさんの質問や意見が出るそうです。

佐奈喜さんは小さいころ神戸に住んでいて神戸空襲がひどくなりかけた頃、国の方針で**4年生の時一人で生穂に疎開**したこと、5年生からは家族で生田でいとこたちと大家族で過ごし、学校では**さつまいもを栽培**したこと、**食べ物は雑炊**だったことを話します。子どもたちは、今の雑炊をイメージしておいしい気分になるため、中身はさつまいも・米・麦・大根の葉などを塩で味つけし、**お箸やスプーンがなくても食べられる位サラサラ**だと

話すとびっくり顔になるそうです。昔よく歌っていた「青い目をしたお人形は・・・」の海を渡った友好人形、アメリカの青い目の人形、日本のお市人形の話もしています。昭和2年頃から日本に2万體贈られ、今では100分の1の200體位残り、その1體が四国の神領小学校で保管され、人権教育に役立っているということです。

佐奈喜さんは、「戦争の犠牲者数は最後までわからなかった。**戦争は人間を虫けら同様に扱っていた**」など、戦争の悲惨さを子どもたちに話せる限り伝えていきたいと熱く語られました。お話を聞きしながら紙面にまとめるのは難しく、機会があれば直接大人も子どももお話を聞いてほしいと思いました。

応援隊：廣岡 ひろ子

連絡先：佐奈喜千恵子さん 0799-84-1416

戦時中淡路島には飛行場があった・・・南あわじ市柏木さんが語る **まるまる 〇〇飛行場の話**



南あわじ市松帆にある
〇〇飛行場跡記念碑



「むかし、淡路島に飛行場があった。名前は・・・〇〇（まるまる）！」

終戦間近の1944年3月、旧の西淡町松帆脇田などに住む35世帯がすぐ立ち退くように命じられ、数か月の突貫工事で作られた飛行場です。当時17歳で飛行場へ徴用で通っていた、近くに住む柏木 文俊さん(84)は、「飛行場のことはもちろん機密やから、誰が言い出したか知らんけど、いつの間にか〇〇ていうた。整備の仕事をしに行ったら、そこに特攻隊にもうすぐ行くという兵隊が練習に来ていて、ビスケットをもらったりいろんな話をして親しくなった。東北の人が多くて言葉が分かりにくかったけど、もうすぐ死ぬんやと聞いて胸がつまった。飛ぶ練習中に飛行機が落ちて操縦士が目の前で亡くなった。その後は燃料がなくてほとんど飛行機は飛ばなかったが、その飛行機を狙って敵が何度も艦載機でやってきて地面すれすれを飛びながら機銃掃射で打ってくるのがほんまに怖かった。終戦後はすぐに米兵がきて残った飛行機を集めて焼き、コンクリートも割られて埋めたり堤防に使われた。」と記憶をたどりながら話して下さいました。

応援隊：浜田 泰美・岡 八代井

